

2015年2月28日 土曜日 (2)

『発見』を語り合う

男の囲炉裏端の会と四日市大生が交流

定年退職後の男性たちが井戸端会議をするサークル男の囲炉裏端の会（志田米蔵代表）が5日、四日市市蔵町のなやまプラザで、四日市大学ボランティア部の学生と、趣味や熱中していること（志田米蔵代表）が5日、四日市市蔵町のなやま



最近の『発見』を話す四日市大生

『最近発見したこと』をテーマにし、会員16人は『入院による環境の変化』『独居男性の行動力』などを、学生5人は『花言葉』『上下関係』『生活のマンネリ化』などについて説明。各自に与えられた時間3分内に、きっかけや感じたことを話しました。

持ち時間終了後は、質問や関連話などがあり、和気あいあいと語り合ったり、学生たちへ「まだまだこれから、頑張れ」と人生経験を交え、ハッパを掛けたりしていました。

3分間スピーチは定例会ごとであり、学生の参加は2013年から3回目。会のメンバーが学生のボランティア活動を知り、内容を聞いてみたいと参加を呼び掛けました。